



きょうと市民しんぶんが 権威ある「全国広報コンクール」で 内閣総理大臣賞を受賞



ごみを擬人化した
キャラクター

「擬人化」の手法など、読者が
読みたくなる工夫が評価され、
日本一になったんだ！！

平成29年全国広報コンクール（主催：公益社団法人日本広報協会）において、京都市の市政広報紙「きょうと市民しんぶん」が最高位の賞にあたる「内閣総理大臣賞」を受賞しましたので、お知らせします。※昨年度は「入選」を受賞。

1 受賞した紙面（平成28年6月1日号）の概要

- (1) 1～3面において、ごみを擬人化したキャラクターが、ごみ減量に向けた取組や分別のルールを紹介する「6月は環境月間！誰とエコする？」を掲載。
- (2) 見開き面（8・9面）において、イラストを用いた日記形式で、認知症の人との関わり方や具体的な症状の紹介。
- (3) その他、熊本地震の被災地の実情をルポ風に紹介する記事や「歩くまち・京都」の取組を職員が紹介する記事を掲載。



イラスト：来海ユウ

2 コンクールの概要

- (1) 地方自治体等の広報活動の向上に資するため、公益社団法人日本広報協会が、地方自治体等で構成する会員団体を対象に昭和39年から開催。
- (2) 審査は、広報紙、ウェブサイト、広報写真、映像、広報企画の5分野を自治体の規模により10部門に分けて実施。各部門から選ばれた8つの特選作品のうち、最も優秀な作品が、「内閣総理大臣賞」を受賞。

- (3) 平成29年における応募作品総数は503点。京都府及び府下市町村の「内閣総理大臣賞」受賞は初。
- (4) 表彰式は6月30日に宮崎県で開催される全国広報広聴研究大会において実施。

【参考】 きょうと市民しんぶん

- ・全市版（1日号）と各区版（15日号）を毎月発行
- ・約65万部を、市内各戸及び区役所等の公共施設、一部コンビニなどで配布
- ・「読みたくなる紙面」にするため、平成27年2月から編集方針を変更し、紙面の連動性やストーリー性、インパクトのある写真・イラストなどの活用を重視